



図書、DVDコーナー開設

さっそくのご利用ありがとうございます。

昨年末にふれあいセンター一階の図書施設に「地球温暖化・エネルギー問題コーナー」を開きました。さっそく数名の方に「DVD・不都合な真実」を借り出していただきました。今後ともご利用のほどどうかよろしくお願いいたします。なお、本やDVDの感想などお寄せいただけたらありがたく思います。また、温暖化やエネルギー、環境問題に関係すると思われる図書がありましたらご紹介などお願いいたします。

図書の中の絵本「地球のこどもたちへ」より



現在も多くの環境保護団体に所属しながら創作活動をしているアメリカのシム・シメールのすばらしい絵と文による絵本です。子どもたちはもちろん大人もいっしょに読んでほしい本です。

「親愛なる地球のこどもたちへ」で始まります。

これは助けを求める手紙です。
わたしは惑星、地球。ただの星ではありません。
あなたがたの住む家、母なる地球なのです。
そしてあなたがたと同じように、
わたしの体はたったひとつきり。

ひとつしかないということは、
とくべつな、かけがえのない存在であるということ。
いつも愛され、大切にされなければならないということです。
あなたがたと同じように

※本の最後は「わたしがあなたに、いちばんしてほしいこと
ってなんだと思いますか？」に続き
それは……、愛すること、です。
ただそれだけ。どうか愛してください。わたしがあなた
を愛するように深く。
愛することは、大切にすることです。

大切にすることは、守ることです。
わたしを大切にし、守ることが、
あなたにとっては自分の家を、兄弟姉妹である生きもの
たちの家を破壊から救うことになるのです。
それからもうひとつ。
この話をぜひ、友だちや、
まわりの人たちにつたえてください。
(略)
生きものたちはみな、兄弟姉妹、
わたしたちは、ひとつの大きな家族なのだということを
教えてあげてください。
そうすればかれらも、なにか協力してくれるはずです。
わたしにわかるような、小さな手助けを、
なにか……。
(略)
みんなを心から愛しています。

母なる地球より

昨年末には、アメリカとオーストラリアで大規模な「かつてなかったほどの壊滅的な災害」山火事が発生し多くの被害が出ました。オーストラリアでは、熱波の影響でコウモリが大量死し空や木から降って来たとの報告が多発。一部のコウモリは感染症を引き起こすウイルスを持っているとして触らないようにと呼び掛けているとの記事も目にしました。影響はいろんなところに出て来るようです。

「小さな手助け」を広げたいものです。

今年もDVDなどの視写会を行います。ぜひご参加ください。(鄙)

移住者紹介

前田かずきさん、川本みさとさんカップルをご紹介します。



梶ヶ内地区

まえだ かずき ポルコ(オス)
前田和樹さん

かわもと みさと
川本美里さん



大豊町のいいところは「何もないけど全部ある所」です！

一言目にうれしい名言を言ってくれるのは前田和樹さん。

静岡県から移住してきたお二人のエピソードをインタビューしてきました！

きっかけはミニブタのポルコ。幼い時に見た映画「ベイブ」の影響でずっとミニブタを飼う事が夢だった和樹さんが一年前に突然飼いはじめたそうです。

和樹さんの愛情とともにみるみる大きくなるポルコ。だんだん家では飼いづらくなり、和樹さんの幼いころからの念願だった田舎暮らしを決意したそうです。

私はもともと（田舎か都会）どっちでも派でしたが、ブタがかわいそうで・・・と自然とポルコへの愛情をにじませる美里さん。ミニブタ中心のお二人の生活が伺えます(^ ^)

初めは静岡の田舎を探していたのですが、どの田舎と呼ばれる場所もリゾート開発が進んでおり、家賃や物価も高く、想像していた田舎とはかけ離れていたそうです。

それから県外に目を向けて、様々な田舎を転々とするうちに大豊町にたどり着きました。“何もない所だけど、やりたい事が全部詰まっている”大きくなったポルコとの生活が出来る環境がそこにありました。

今後はニワトリを飼ったり、野菜を栽培したりといろんな田舎暮らしに挑戦したいそう。主にネットの仕事で生計を立てているとの事ですが、大豊の仕事にも関わってくれそうです。お二人の大豊での新出発をみんなで応援していきましょう＼(^o^)/

(猪野孔)

今年もやりました！

そば作り文化を後世に伝えるそば物語「脱穀編」



「芽が出ない」。一気に不安が広がりそばのまき直しをすることとなった今年。気候条件や自然環境に左右される事や、この素晴らしい環境を敬い、感謝する心を忘れてはいけない事を改めて感じる事となりました。

播種時期まで雨が1ヶ月近くともに降らなかった影響と、その後、大雨が降り続いてしまった影響もあると思いますが、発芽させることにとても苦労してしまいました。何とか蒔き直したそばの芽が実をつけ、成長し、刈り取り予定日が来ても熟れない。熟れていないが、初霜の日はすぐそこ常に気が休まらない日々でした。

何とか収穫まで辿り着き、遠くは松山から、近くは土佐町からとそば刈りに参加していただきました！

刈り終えたそばは、2週間ほど乾燥させ脱穀をしました。

昨年よりもあきらかに収量が落ちてしまいましたが、そばの実の一つ一つが充実しているようにも見えました。

脱穀後、普段からお世話になっている地元の方や、最近移住して来てくれた方達数十人で、早めの忘年会を開きました！

料理には大豊町内で取れた食材を盛り込んでみんなでわいわい。普段の感謝の気持ちと、新しいつながりを祝福しました。

今年で3回目となったそば物語。まだまだ課題は山積みですが、少しずつ前進していきます！（中平）

そば物語「そば打ち編」参加者募集！

日時：2月2日(土)10:00

場所：ふれあいセンター

問い合わせ：090-6659-9234(中平)

いよいよ今回脱穀したそば粉を使ってそば打ち教室を開催します！みなさまお楽しみに！



あなたの住む集落で「貸したい／売りたい」空家をご存じないですか？
大豊町での暮らしを望む方がいます。
文化・風習を継承したい方がいます。
貸しても(売っても)いいという家主さんがいたら、ぜひご連絡ください！

080-8635-2253

新企画スタート！

米作り体験

移住者の方々と交流していると、米づくりはしてみたいが中々踏み出せないという声をよく聞きます。やはり、米づくりは原風景の代表的なもの、田舎暮らしでやってみたいことの上位にくるものだと思います。しかし、現実には全くの素人から米を作るのはなかなか難しいでしょう。

そう言った声に応えたいという思いもあって、米づくり体験を開催しました。



昨年11月1日、企画が間に合わず今回は稲刈り体験からのスタート（汗）参加者とスタッフは講師の方の指導のもと、大小5枚の棚田の稲刈りを行います。狭い田んぼは手刈りし、広い田んぼはバインダーという機械を使って刈りました。

交代で機械を体験してもらい、刈った稲が自動で縛られて出てくる様子に感動したり、「気持ちいい！」といった声が聞こえてきました。

また、この日は前のALTだったエイモンとエリーが家族を連れて来ていたので急遽飛び入り参加。そのおかげで手刈りの所は機械よりも早く終わるという面白い出来事もありました。

11月25日、はざかけしていた米も乾いたので脱穀を参加者と一緒にに行いました。脱穀機に稲を入れてもみを落としていく単純な作業ですが、袋の交換のタイミングであったり機械の目詰まりの掃除であったりと、色々と細かな気配りが必要ですし、機械自体に危険なところも多いため、注意点をしっかりと守ってもらいながら作業してもらいました。

お昼休憩にはその場で精米してきた新米を炊き、それぞれ持ち寄ったおかずで新米を堪能。みんなあれもこれもと持ち寄ったのでおかずは盛大に余りました（笑）

脱穀後には参加者の方にお米をそれぞれ持って帰っていただいて、自分が携わったお米を味わってもらいました。

(猪野大)